

# 静岡県月例経済報告

(令和3年1月号)

……令和2年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 537

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・需要面 .....	4
・生産面 .....	12
・雇用面 .....	14
・その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和2年11月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による下振れリスクの高まりに、より一層注意する必要がある。

雇用情勢は、厳しい状況にある。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直しつつある。

## 需要面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(11月)は、スーパーが2か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターがいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、乗用車、軽自動車がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

### 「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(11月)は、持家が8か月連続、分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(11月)は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「設備投資は、下げ止まりつつある」

日銀短観(12月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(11月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

**「輸出は、持ち直している」**

**「輸入は、前年を下回った」**

輸出総額（11月）は、自動車の部分品が10か月連続、二輪自動車類が11か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が10か月ぶり、エアコンが2か月連続、自動車が6か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（11月）は、魚介類及び同調製品が5か月ぶり、紙類及び同製品が8か月ぶり、原動機が2か月連続で前年実績を上回ったものの、木材、パルプがいずれも5か月連続、自動車の部分品が20か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,034億円の輸出超過となった。

## 生産面

**「生産は、持ち直しつつある」**

鉱工業生産指数（11月）は、電気機械が3か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が13か月連続、輸送機械が3か月ぶり、化学が10か月連続、パルプ・紙・紙加工品が16か月連続、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも18か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は6か月ぶりに低下した。

なお、鉱工業在庫指数（11月）は、総合では4か月連続で前年水準を下回った。

## 雇用面

**「雇用情勢は、厳しい状況にある」**

有効求人倍率（11月）は0.96倍で、前月を0.03ポイント上回った。また、3か月連続で0.9倍台となった。なお、20か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（11月）は、15か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（10月）は、21か月連続で前年実績を下回った。

## その他

**「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」**

県内金融機関の貸出残高（11月）は、前年同月比 7.3%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（11月）は、前年同月比 209.3%増と前年実績を上回った。

**「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」**

企業倒産（12月）は、件数は19件（前年同月比 58.3%増）と、前年実績を上回り、負債総額は19億4,200万円（同 95.2%減）と、前年実績を下回った。

## <トピックス> 地域経済牽引企業の魅力を動画で配信

県は、地域未来投資促進法（※）に基づき、民間企業が地域の特性を生かして取り組む事業を「地域経済牽引事業」として承認しており、このたび、承認企業（地域経済牽引企業）の取組を紹介する動画を制作し、インターネットにより幅広い情報発信を行っています。

※：地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の略称



### ～7つの産業革命とは～

今、静岡県では成長ものづくり、農林水産、第4次産業革命、観光、スポーツ、環境・エネルギー、ヘルスケア産業の7つの分野で革命が起きている。

その先頭に立つのが、豊かな社会を目指し、地域の特性や新技術を生かして成長性の高い新たな分野に挑戦する「地域経済牽引企業」である。

### 【動画の内容】

- ・ 成長ものづくり、ヘルスケア産業等、多彩な企業の魅力について、各企業のリーダー自らが熱く語ります。
- ・ 動画を通じ、県内企業の取組を一層促進するとともに、本県産業全体の魅力として発信することで、大都市圏からのU・Iターン就職の増加を目指します。

### ●今回、動画を公開する企業（11社） 順不同

企業名	市町	テーマ
(株)シノミヤ	藤枝市	精密加工と金型制作の技術で、日本の自動車産業を支える
金子歯車工業(株)	富士市	歯車をつくる技術で、日本のものづくり産業を根底から支える
(株)平垣製作所	静岡市清水区	丸ものなら平垣、世界へ発信
三立製菓(株)	浜松市中区	お菓子を通して、お客様に安心と満足をお届けします
(株)エステック	清水町	静岡県東部地域から空へ、宇宙へ
羽立化工(株)	湖西市	私たちはモノづくりを通してプラスの連鎖を創出します
(株)竹屋旅館	静岡市清水区	地域と共に育ち“ここにしかない”を創り上げていく
(株)田子の月	富士市	お菓子を通して幸せを届ける、そしてお菓子で心を満たす
羽立工業(株)	湖西市	世界を健康で楽しくするPROJECT
(株)SPLYZA	浜松市中区	アマチュアスポーツの“もっと上手になりたい”を叶える
静岡オーガニック抹茶(株)	川根本町	世界に愛される有機抹茶の産地づくり

※静岡県基本計画に基づき承認されている地域経済牽引事業72件（令和2年12月末時点）のうち、動画の制作募集に応募があった11社を選定。

### 【動画の視聴方法】

★ <https://shizuoka-sangyokakumei.fujinokuni-passport.com/> へアクセス

【お問い合わせ】 担当：産業政策課 TEL：054-221-2635

## Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

### 1 個人消費

#### (1) 大型小売店販売額

11月 = 35,768百万円

\*前年同月比： 0.3%減

(県内3百貨店、150スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は35,768百万円で、前年同月比 0.3%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 2.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同 11.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、身の回り品（前年同月比 0.9%増）が2か月連続、飲食料品（同 2.8%増）が10か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 19.0%減）が2か月ぶり、家庭用品（同 9.2%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	31,454	34,484	36,061	36,427	37,924	34,892	35,902	35,768
前年同月比（%）	▲ 11.9	▲ 4.8	▲ 0.5	▲ 0.4	0.8	▲ 10.7	6.2	▲ 0.3
うち 百貨店（%）	▲ 64.2	▲ 50.5	▲ 13.8	▲ 13.5	▲ 14.1	▲ 31.9	12.4	▲ 11.9
スーパー（%）	0.3	5.0	2.6	2.7	3.7	▲ 5.4	5.1	2.6
（参考1）全国前年同月比（%）	▲ 22.1	▲ 16.7	▲ 3.5	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 13.9	2.9	▲ 3.4
うち 百貨店（%）	▲ 71.1	▲ 63.6	▲ 17.3	▲ 18.6	▲ 20.0	▲ 32.1	▲ 0.8	▲ 13.6
スーパー（%）	0.9	4.5	3.2	3.0	3.7	▲ 4.7	4.5	1.8
（参考2）県前年同月比（店舗数調整前）	▲ 8.8	▲ 1.8	0.5	0.9	3.2	▲ 8.4	6.1	▲ 0.5

（注1）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

（注2）令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣 料 品	▲ 63.8	▲ 41.5	▲ 8.3	▲ 19.8	▲ 17.3	▲ 34.9	5.2	▲ 19.0
うち 紳士服・洋品	▲ 60.8	▲ 32.4	▲ 5.8	▲ 25.9	▲ 27.5	▲ 42.6	▲ 6.8	▲ 30.9
婦人・子供服・洋品	▲ 65.9	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 17.5	▲ 13.9	▲ 31.9	8.0	▲ 14.8
身の回り品	▲ 57.8	▲ 44.0	▲ 4.8	▲ 2.4	▲ 10.3	▲ 29.8	32.9	0.9
飲食料品	2.5	5.8	1.7	3.8	5.3	0.3	4.3	2.8
家庭用品	▲ 23.9	▲ 13.3	0.7	▲ 9.8	▲ 10.8	▲ 34.5	▲ 3.3	▲ 9.2
うち家庭用電気機械器具	▲ 26.1	▲ 12.3	▲ 7.2	▲ 0.8	▲ 8.4	▲ 39.9	1.2	11.4

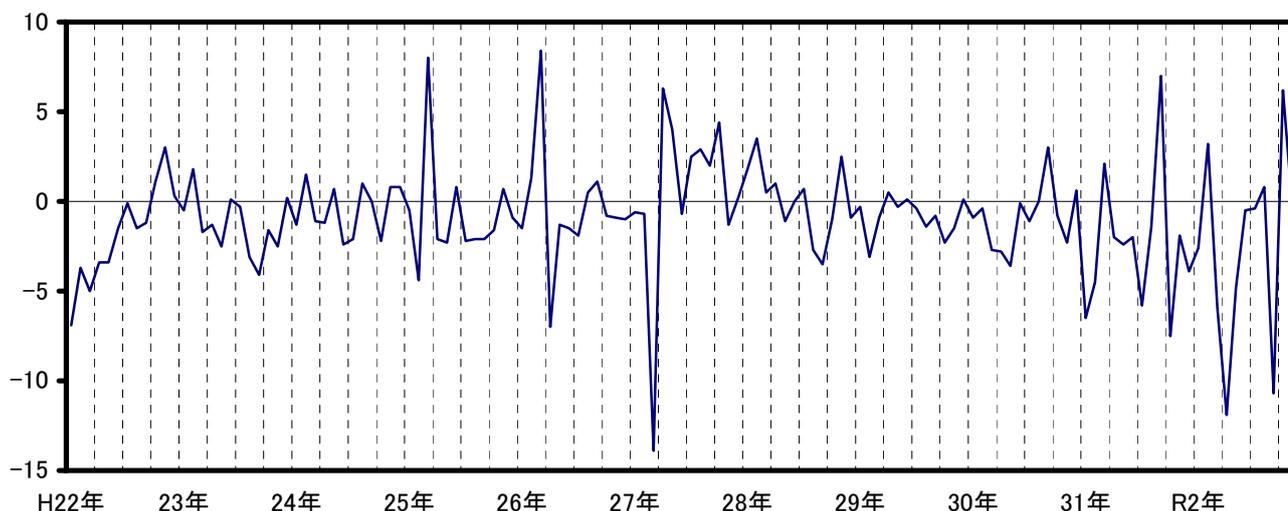
（注）店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



## (2) 専門量販店等販売額

11月 = 72,618百万円

\*前年同月比：9.2%増

(県内89家電大型専門店、1,673コンビニエンスストア、519ドラッグストア、114ホームセンター合計)

### <概況>

11月の専門量販店等販売額は72,618百万円で、前年同月比9.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比23.8%増）、コンビニエンスストア（同5.1%増）、ドラッグストア（同9.8%増）、ホームセンター（同9.7%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	69,253	72,520	73,680	75,788	80,322	70,675	72,036	72,618
前年同月比(%)	0.6	2.7	5.5	2.3	4.7	▲9.6	9.6	9.2
うち 家電大型専門店(%)	▲3.7	11.5	25.9	17.0	13.2	▲27.8	30.6	23.8
コンビニエンスストア(%)	▲9.3	▲9.0	▲4.6	▲8.3	▲5.5	▲3.0	3.2	5.1
ドラッグストア(%)	11.6	8.9	7.2	7.3	9.6	▲7.6	13.5	9.8
ホームセンター(%)	8.5	18.5	14.7	10.3	19.6	▲12.2	7.2	9.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.9	0.2	5.8	1.2	2.9	▲10.6	5.2	5.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

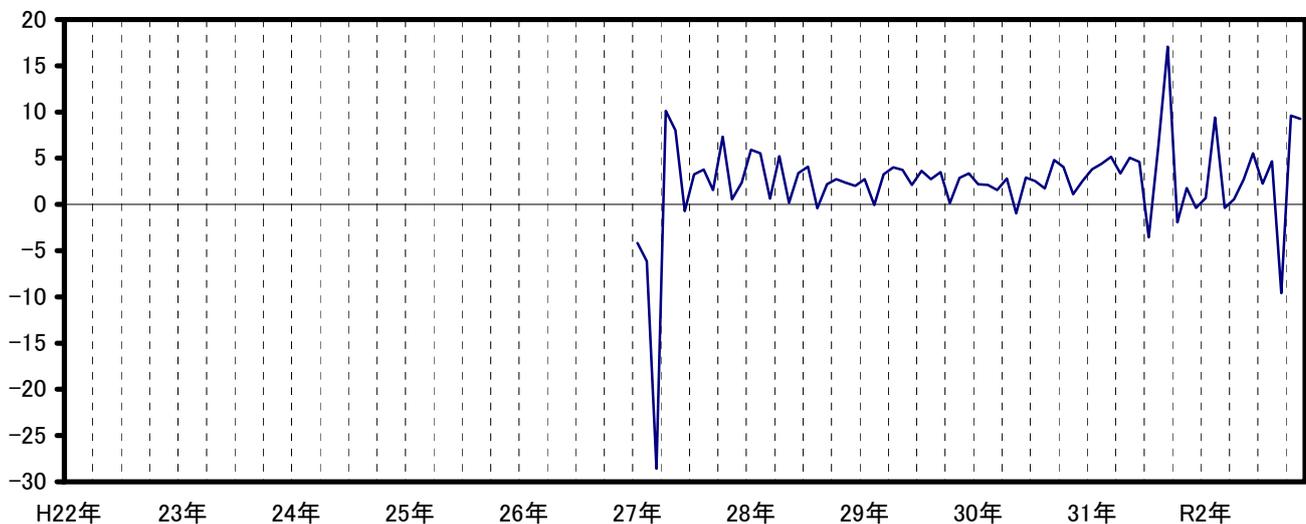
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

11月 = 14,336 台

\*前年同月比： 11.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は14,336台(前年同月比 11.0%増)と、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 10.4%増)、軽自動車(同 11.7%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	9,339	7,392	11,764	13,880	11,435	16,554	14,337	14,336
前年同月比(%)	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 11.6	30.8	11.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 30.4	▲ 46.7	▲ 22.6	▲ 12.8	▲ 14.8	▲ 14.8	30.8	6.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

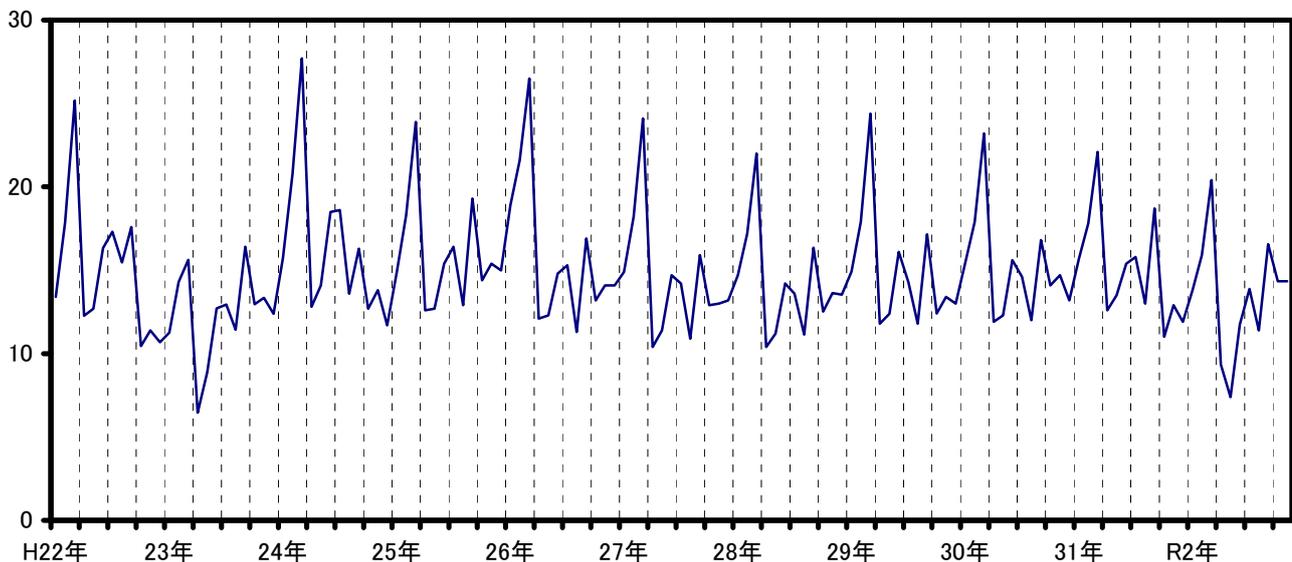
	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 11.6	30.8	11.0
乗用車	▲ 25.7	▲ 42.1	▲ 27.5	▲ 18.6	▲ 15.5	▲ 15.5	39.1	10.4
軽自動車	▲ 26.3	▲ 48.5	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 8.2	▲ 6.8	22.3	11.7

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,763 戸

\*前年同月比： 14.6%増

### <概況>

11月の新設住宅着工戸数は1,763戸で、前年同月比 14.6%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 3.4%減）が8か月連続、分譲住宅（同 21.0%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家（同 23.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

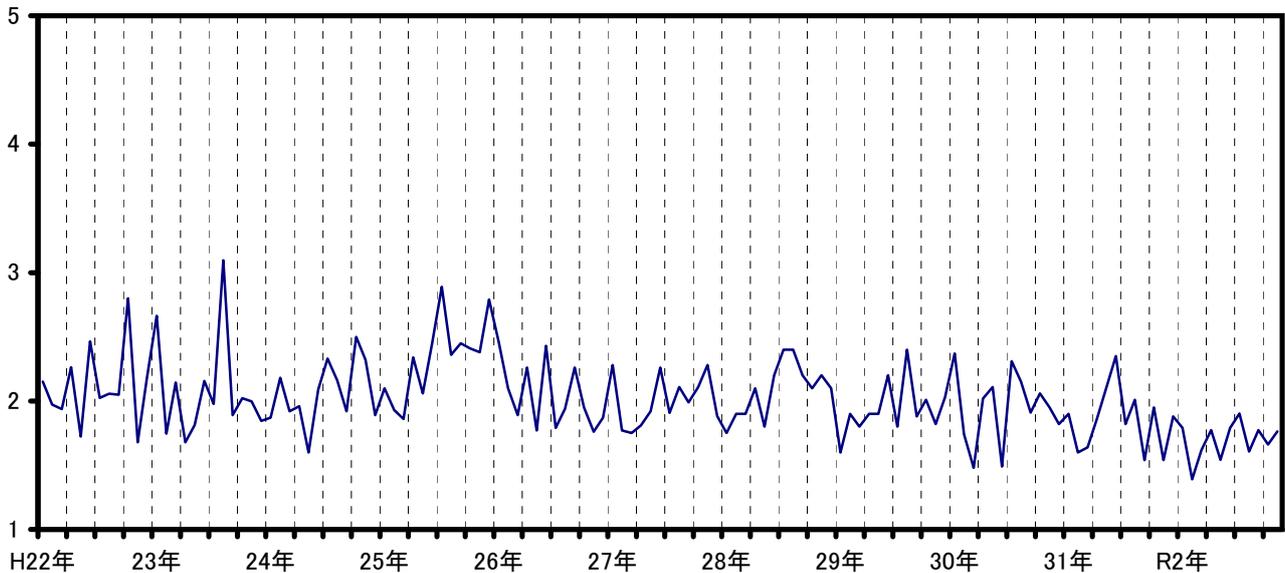
	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数 (戸)	1,774	1,541	1,790	1,902	1,606	1,773	1,661	1,763
前年同月比 (%)	▲ 4.4	▲ 27.0	▲ 23.8	4.4	▲ 20.2	15.4	▲ 14.9	14.6
うち持家 (%)	▲ 8.1	▲ 40.1	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 22.7	▲ 1.0	▲ 10.4	▲ 3.4
貸家 (%)	15.1	18.2	▲ 39.2	▲ 1.4	▲ 23.5	45.0	▲ 23.8	23.7
分譲住宅 (%)	▲ 15.4	▲ 46.2	▲ 10.9	92.7	▲ 5.2	32.6	▲ 15.9	▲ 21.0
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 12.9	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 3.7

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

11月 = 17,953百万円

\*前年同月比： 5.2%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は17,953百万円で、前年同月比 5.2%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は664件で、前年同月比 1.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	68,572	51,996	61,723	41,226	37,227	53,175	21,874	17,953
前年同月比（%）	▲15.9	59.9	49.8	▲3.0	23.9	▲17.2	▲34.6	5.2
年度累計前年同月比（%）	▲15.9	5.7	17.4	13.0	14.5	7.5	3.2	3.3
件数（件）	664	494	727	857	782	1,274	784	664
前年同月比（%）	18.8	▲13.8	8.5	▲2.7	2.8	18.4	▲15.8	▲1.6
年度累計前年同月比（%）	18.8	2.3	4.6	2.2	2.3	6.2	2.4	2.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

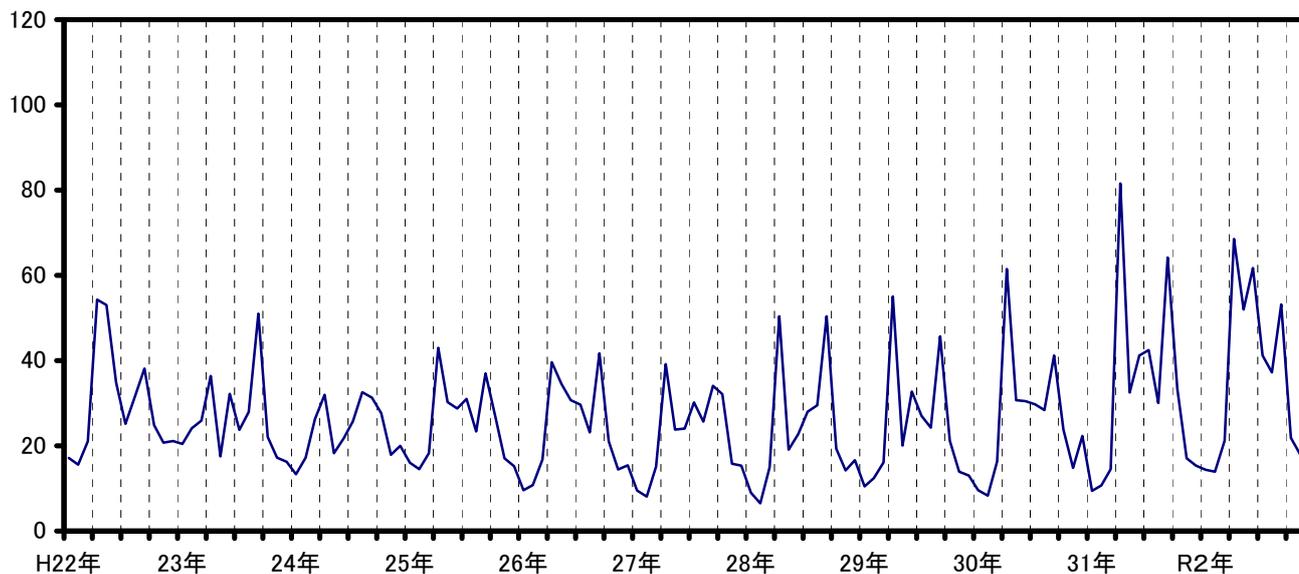
	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	▲40.4	56.2	25.7	23.7	23.5	40.6	▲66.9	95.4
独立行政法人等	▲61.1	317.0	255.2	255.5	407.7	▲70.7	58.2	▲12.0
県	64.1	8.8	46.2	▲7.2	39.0	24.6	▲34.2	▲1.9
市町	7.6	▲19.9	44.8	▲18.2	▲6.7	12.6	▲25.6	▲3.3
地方公社	▲85.8	-	-	▲78.4	▲98.6	▲64.9	▲39.6	439.4
その他	▲65.2	247.4	▲85.2	▲28.1	▲44.5	▲45.3	▲61.4	▲85.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%減）、非製造業（同 2.6%減）、全産業（同 2.9%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 0.7%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 0.4%減）では減少する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は60,377㎡で、前年同月比 49.0%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	5.2	(3.2) ▲2.9
	全国	▲0.6	(▲1.3) ▲3.9
製造業	県	9.4	(5.9) ▲3.3
	全国	0.9	(▲2.8) ▲3.1
非製造業	県	1.0	(0.6) ▲2.6
	全国	▲1.5	(▲0.4) ▲4.5

（ ）内は前回調査比修正率

### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	1.4	(2.5) ▲0.4
	全国	1.6	(▲2.1) ▲3.0
製造業	県	0.7	(3.4) 0.7
	全国	1.7	(▲2.8) ▲2.6
非製造業	県	3.0	(0.0) ▲3.1
	全国	1.5	(▲1.2) ▲3.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和2年12月調査）」

### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	88,441	114,434	127,714	132,677	100,766	88,933	102,751	60,377
前年同月比（%）	▲35.3	▲23.5	▲21.6	24.5	▲14.8	▲2.5	▲45.9	▲49.0
（参考）全国前年同月比（%）	▲9.1	▲2.6	▲18.2	▲22.6	▲8.2	7.8	▲7.3	▲10.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R2年9月	12月	R3年3月 (予測)
全産業	全産業	▲33	▲20	▲21
	製造業	▲43	▲24	▲24
	非製造業	▲24	▲15	▲16
（参考）全国・全産業		▲28	▲15	▲18

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

## 5 輸出

11月 = 189,052百万円

\*前年同月比： 7.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は189,052百万円で、前年同月比 7.2%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 3.1%減）が10か月連続、二輪自動車類（同 39.7%減）が11か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 6.9%増）が10か月ぶり、エアコン（同 32.8%増）が2か月連続、自動車（同 6.1%増）が6か月連続、科学光学機器（同 39.9%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 3.8%減）、EU向け（同 0.3%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 18.0%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	147,563	102,775	125,170	142,582	140,513	216,939	190,031	189,052
前年同月比(%)	▲ 13.3	▲ 32.6	▲ 29.2	▲ 31.5	▲ 13.5	32.3	1.4	7.2

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	▲ 37.1	▲ 58.9	▲ 51.3	▲ 40.4	▲ 39.4	▲ 20.5	▲ 14.8	6.9
エアコン	▲ 33.7	▲ 56.7	▲ 36.8	▲ 40.5	▲ 39.3	▲ 8.4	9.6	32.8
自動車	▲ 64.3	▲ 74.5	90.8	102.7	66.6	90.1	84.0	6.1
自動車の部分品	▲ 16.9	▲ 47.5	▲ 60.0	▲ 49.9	▲ 38.9	▲ 10.9	▲ 9.7	▲ 3.1
二輪自動車類	▲ 25.3	▲ 65.8	▲ 62.6	▲ 41.0	▲ 25.5	▲ 12.8	▲ 27.3	▲ 39.7
科学光学機器	7.3	43.3	30.6	▲ 0.7	▲ 4.5	25.3	3.6	39.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	▲ 1.2	▲ 13.5	▲ 23.4	▲ 18.4	▲ 12.6	16.2	7.5	18.0
米国	▲ 23.3	▲ 40.5	▲ 51.9	▲ 61.8	▲ 30.4	67.3	▲ 8.5	▲ 3.8
EU	▲ 27.4	▲ 51.3	▲ 8.9	▲ 0.1	3.8	31.9	▲ 0.6	▲ 0.3

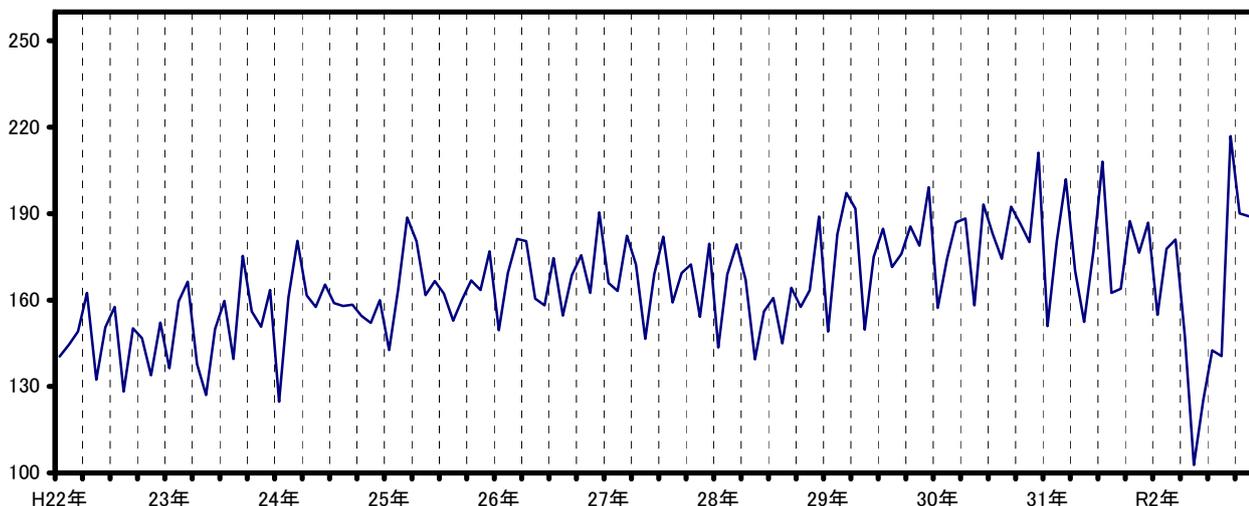
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

11月 = 85,644百万円

\*前年同月比： 6.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は85,644百万円で、前年同月比 6.1%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 15.1%増）が5か月ぶり、紙類及び同製品（同 4.6%増）が8か月ぶり、原動機（同 14.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、木材（同 24.0%減）、パルプ（同 26.4%減）がいずれも5か月連続、自動車の部分品（同 5.0%減）が20か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 6.5%減）、米国から（同 4.1%減）がいずれも2か月ぶり、EUから（同 5.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	87,630	75,883	74,880	72,097	70,468	72,331	89,675	85,644
前年同月比(%)	▲13.4	▲20.9	▲14.4	▲21.2	▲15.4	▲13.5	3.4	▲6.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類及び同調製品	▲18.6	▲21.8	0.6	▲27.9	▲18.8	▲4.0	▲3.8	15.1
木材	▲17.4	▲43.3	4.7	▲27.9	▲13.9	▲34.5	▲11.7	▲24.0
パルプ	▲27.1	▲45.9	4.3	▲9.2	▲36.1	▲29.9	▲3.8	▲26.4
紙類及び同製品	▲8.1	▲28.0	▲1.3	▲32.9	▲34.9	▲22.1	▲10.3	4.6
原動機	4.6	▲41.5	▲34.8	▲30.7	▲42.0	▲11.8	8.9	14.5
自動車の部分品	▲32.0	▲63.4	▲53.2	▲36.4	▲26.9	▲42.1	▲6.4	▲5.0

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

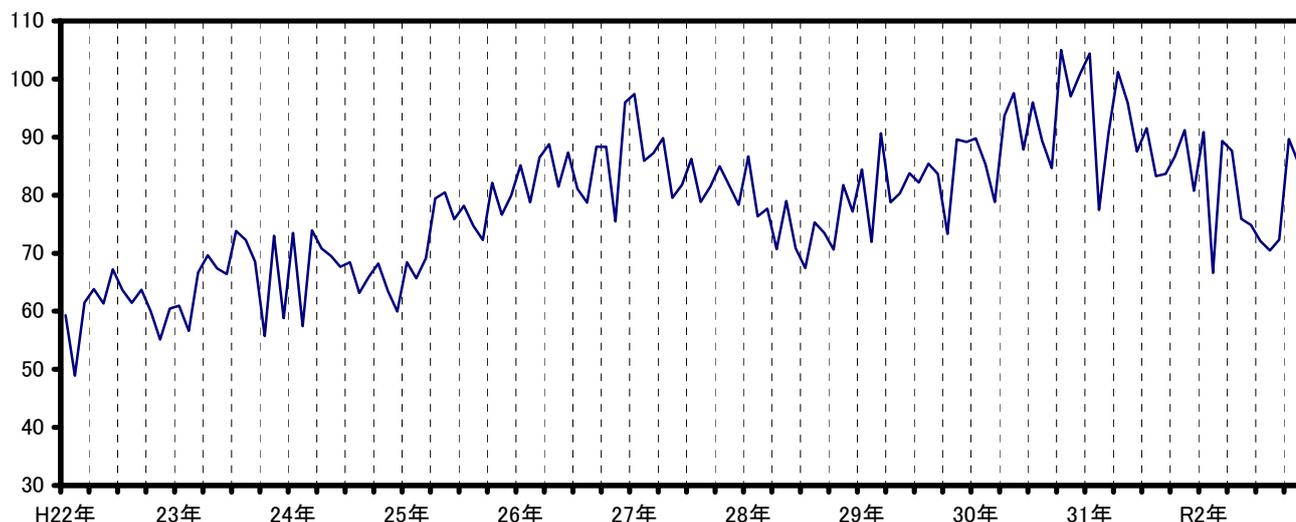
	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	▲15.2	▲29.7	▲17.4	▲23.5	▲8.5	▲21.4	12.9	▲6.5
米国	33.7	36.8	▲18.2	▲43.0	7.5	▲13.0	15.7	▲4.1
EU	▲18.9	▲33.0	34.3	▲24.9	▲1.4	1.7	▲2.5	▲5.2

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

11月 = 92.7

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.7%減

\*前年同月比(原指数) : 9.3%減

#### <概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は92.7(季節調整済指数)で、前月比は1.7%減と、6か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は9.3%減と、18か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比0.9%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同22.9%減)が13か月連続、輸送機械(同7.9%減)が3か月ぶり、化学(同15.7%減)が10か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.9%減)が16か月連続、食料品・たばこ(同9.5%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	75.4	69.6	82.1	88.5	90.1	94.1	94.3	92.7
前月比(%)	▲20.6	▲7.7	18.0	7.8	1.8	4.4	0.2	▲1.7
前年同月比(%)	▲26.5	▲34.5	▲14.8	▲12.5	▲10.2	▲3.9	▲6.4	▲9.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲15.0	▲26.3	▲18.2	▲15.5	▲13.8	▲9.0	▲3.0	▲3.9

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲31.6	▲30.1	▲18.1	▲33.2	▲26.4	▲23.5	▲19.4	▲22.9
電気機械工業	▲22.5	▲32.7	▲20.3	▲16.0	▲10.0	4.7	0.3	0.9
輸送機械工業	▲52.4	▲54.2	▲8.3	▲2.6	▲4.8	4.8	0.2	▲7.9
化学工業	▲7.4	▲11.9	▲5.3	▲10.3	▲16.0	▲5.3	▲16.8	▲15.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.8	▲8.6	▲9.1	▲14.1	▲4.7	▲6.2	▲2.6	▲3.9
食料品・たばこ工業	▲3.8	▲29.5	▲18.8	▲7.6	0.5	▲4.7	▲9.5	▲9.5

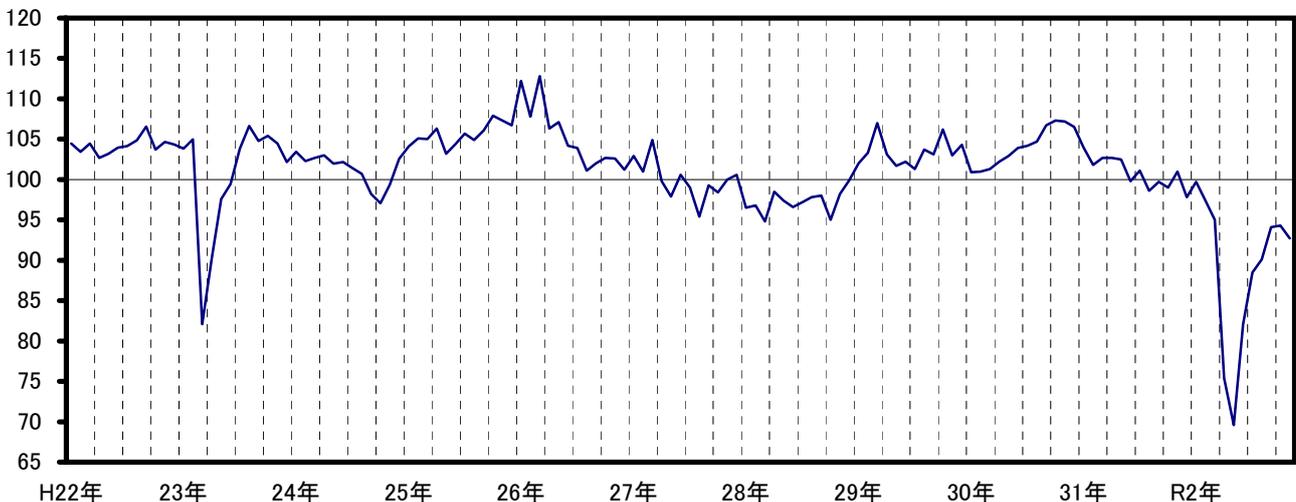
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

11月 = 104.0

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.1%増

\*前年同月比(原指数) : 3.6%減

### <概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は104.0(季節調整済指数)で、前月比は2.1%増と、4か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.6%減と、4か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比0.3%増)が23か月連続、輸送機械(同24.7%増)が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.8%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同2.4%減)が11か月連続、化学(同9.1%減)、食料品・たばこ(同13.8%減)がいずれも6か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	108.7	109.0	105.4	107.8	105.9	104.8	101.9	104.0
前月比(%)	2.3	0.3	▲3.3	2.3	▲1.8	▲1.0	▲2.8	2.1
前年同月比(%)	0.4	3.0	▲1.1	0.5	▲2.7	▲0.8	▲4.6	▲3.6
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	▲0.5	▲3.4	▲4.8	▲5.9	▲5.7	▲8.1	▲9.0

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	33.1	0.8	17.0	10.6	9.6	8.1	5.0	0.3
電気機械工業	▲8.7	▲4.9	▲0.8	▲12.5	▲13.4	▲5.4	▲0.5	▲2.4
輸送機械工業	▲27.1	10.8	43.3	54.1	21.6	58.7	14.2	24.7
化学工業	6.9	21.9	▲2.3	▲1.8	▲6.3	▲6.5	▲16.3	▲9.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.5	0.9	2.8	0.0	4.6	10.4	8.7	8.8
食料品・たばこ工業	13.6	7.4	▲7.7	▲4.4	▲5.7	▲13.7	▲9.0	▲13.8

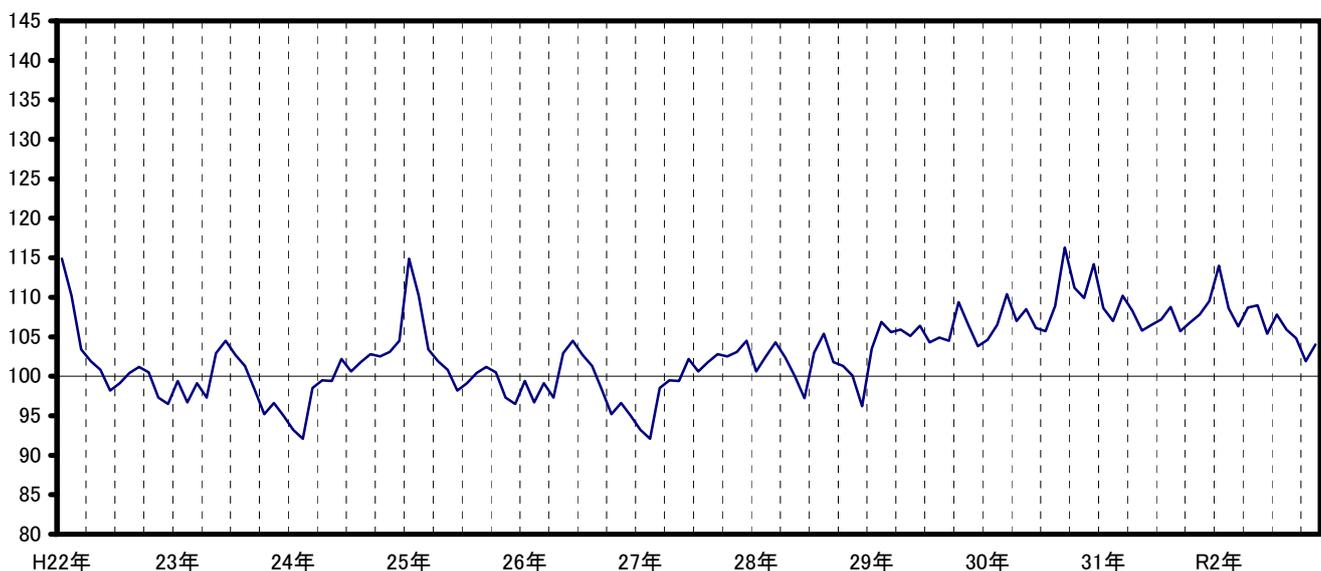
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**11月 = 0.96倍**

\*前月比（季節調整値）：0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概況>

11月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は0.96倍となり、前月を0.03ポイント上回った。また、20か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 20.6%減）は27か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 0.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業（同 22.6%減）が24か月連続、情報通信業（同 38.7%減）が10か月連続、運輸業・郵便業（同 12.7%減）、卸売業・小売業（同 30.3%減）がいずれも11か月連続、医療・福祉（同 20.1%減）が13か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 18.6%減）が19か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.17	1.06	0.96	0.90	0.88	0.90	0.93	0.96
全 国	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03	1.04	1.06

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲ 9.4	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 0.9	▲ 7.8	▲ 3.6	10.0	0.4
製造業	▲ 38.5	▲ 43.6	▲ 42.5	▲ 48.0	▲ 44.3	▲ 27.7	▲ 35.6	▲ 22.6
情報通信業	▲ 22.8	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 42.0	▲ 33.8	▲ 28.0	▲ 20.6	▲ 38.7
運輸業・郵便業	▲ 23.4	▲ 15.8	▲ 25.3	▲ 34.0	▲ 13.5	▲ 42.5	▲ 24.5	▲ 12.7
卸売業・小売業	▲ 22.6	▲ 35.7	▲ 31.7	▲ 28.1	▲ 36.7	▲ 24.3	▲ 20.6	▲ 30.3
医療・福祉	▲ 10.7	▲ 27.7	▲ 18.7	▲ 10.8	▲ 26.8	▲ 11.6	▲ 6.6	▲ 20.1
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 51.1	▲ 52.1	▲ 51.1	▲ 53.4	▲ 47.1	▲ 31.0	▲ 38.3	▲ 18.6
合 計	▲ 30.1	▲ 32.9	▲ 29.1	▲ 32.7	▲ 31.5	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 20.6

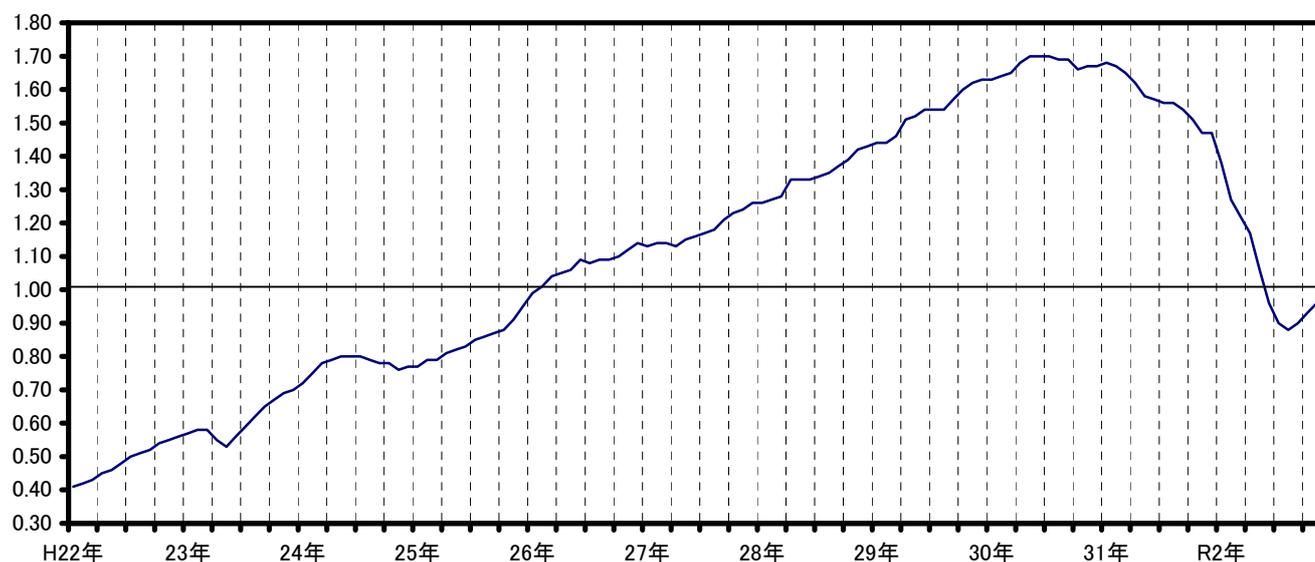
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 14,632人

\*前月比: 8.2%減

\*前年同月比: 34.3%増

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は14,632人で、前月比は8.2%減と、3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は34.3%増と15か月連続で前年実績を上回った。  
 完全失業率(全国)は2.9%と前月から0.2ポイント改善した。  
 静岡県(令和2年7~9月)の完全失業率は2.6%で、前期(令和2年4~6月)から0.4ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	9,880	11,648	14,183	16,199	16,852	16,694	15,937	14,632
前月比(%)	▲3.1	17.9	21.8	14.2	4.0	▲0.9	▲4.5	▲8.2
前年同月比(%)	1.6	8.0	33.3	41.8	48.3	44.8	38.0	34.3
(参考)全国前年同月比(%)	1.0	3.0	25.8	27.6	33.2	35.8	32.2	27.4

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	2.9

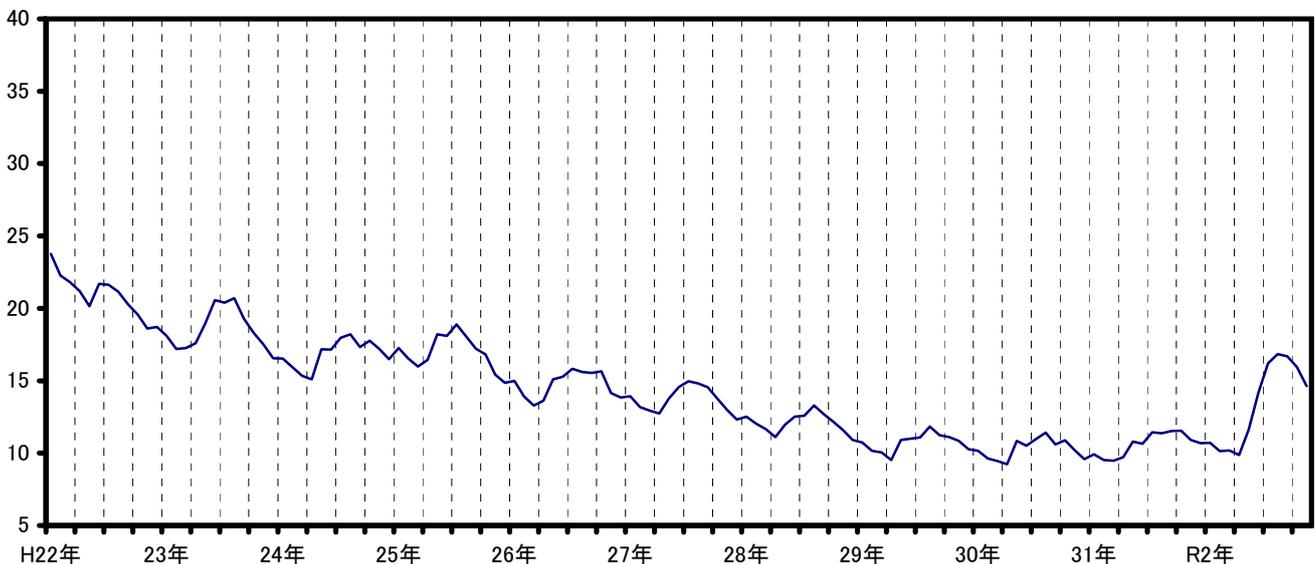
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

10月 = 71.7

\*前月比(季節調整済指数): 1.5%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 15.2%減

#### <概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は71.7(季節調整済指数)で、前月比は1.5%減となった。また、前年同月比(原指数)は15.2%減と、21か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、医療・福祉(前年同月比 22.8%増)が5か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 22.2%減)が2か月連続、製造業(同 15.9%減)が24か月連続、情報通信業(同 18.0%減)が11か月連続、運輸業・郵便業(同 27.3%減)が12か月連続、卸売業・小売業(同 29.2%減)、その他のサービス業(同 11.0%減)がいずれも7か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	89.9	71.6	55.1	57.9	64.3	70.7	72.8	71.7
前月比(%)	2.0	▲20.4	▲23.0	5.1	11.1	10.0	3.0	▲1.5
前年同月比(%)	▲3.1	▲22.3	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7	▲16.8	▲15.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.1	▲19.9	▲30.6	▲24.3	▲16.3	▲14.7	▲12.4	▲10.3

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	96.1	39.8	2.5	▲31.1	27.8	32.5	▲12.4	▲22.2
製造業	▲7.1	▲30.1	▲54.1	▲39.3	▲35.0	▲33.1	▲20.2	▲15.9
情報通信業	▲20.6	▲36.1	▲25.8	▲23.5	▲36.7	▲39.1	▲31.6	▲18.0
運輸業・郵便業	▲14.0	▲26.9	▲25.2	▲37.9	▲29.2	▲30.7	▲29.1	▲27.3
卸売業・小売業	13.9	▲12.5	▲25.6	▲13.7	▲25.6	▲15.0	▲18.4	▲29.2
医療・福祉	▲11.9	▲1.4	0.0	39.2	11.1	20.9	25.8	22.8
その他のサービス業	0.0	▲10.5	▲35.7	▲23.2	▲20.2	▲4.2	▲19.0	▲11.0
調査産業計	▲3.1	▲22.3	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7	▲16.8	▲15.2

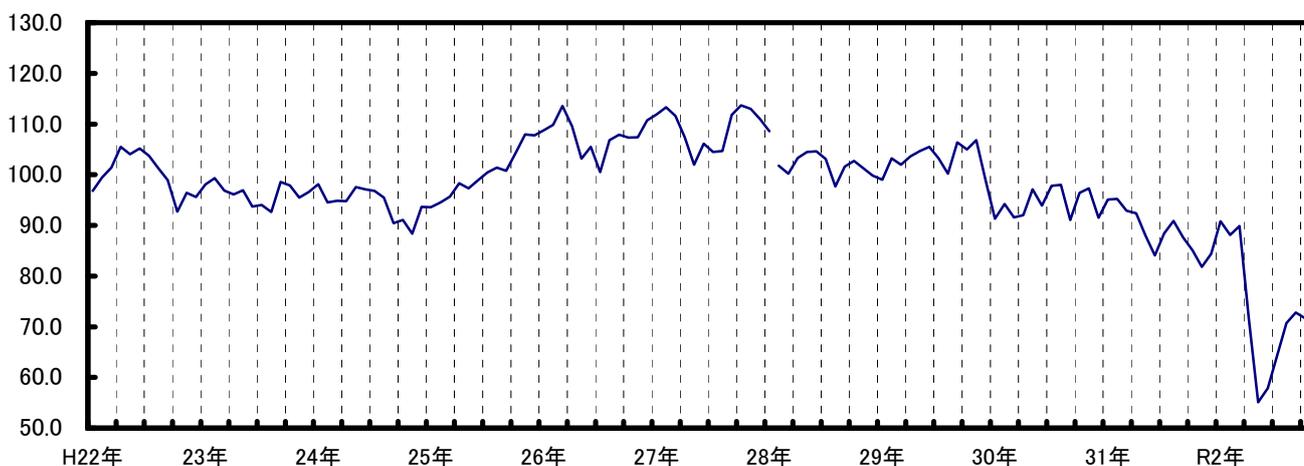
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

12月 = 100.3

(平成27年=100)

\*前月比: 0.5%上昇

\*前年同月比: 2.0%下落

#### <概況>

12月の国内企業物価指数は100.3となり、前月比は0.5%の上昇となった。また、前年同月比は2.0%の下落となった。

#### <最近の動き>

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	98.9	99.6	100.2	100.3	100.1	99.9	99.8	100.3
前月比 (%)	▲ 0.5	0.7	0.6	0.1	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.5
前年同月比 (%)	▲ 2.8	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.0

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 145,170億円

(銀行、信用金庫)

\*前月比: 0.1%減

\*前年同月比: 7.3%増

#### <概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,170億円で、前月比は0.1%の減少となった。また、前年同月比は7.3%の増加となった。

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	138,387	142,636	144,316	145,237	145,086	145,276	145,328	145,170
前月比 (%)	0.8	3.1	1.2	0.6	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.1
前年同月比 (%)	1.7	5.4	6.1	7.0	7.0	6.7	7.7	7.3

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

11月 = 1.656%

(県内地銀4行総平均)

\*前月差: 0.004ポイント減

\*前年同月差: 0.102ポイント減

#### <概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.656%で、前月から0.004ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.102ポイントのマイナスとなった。

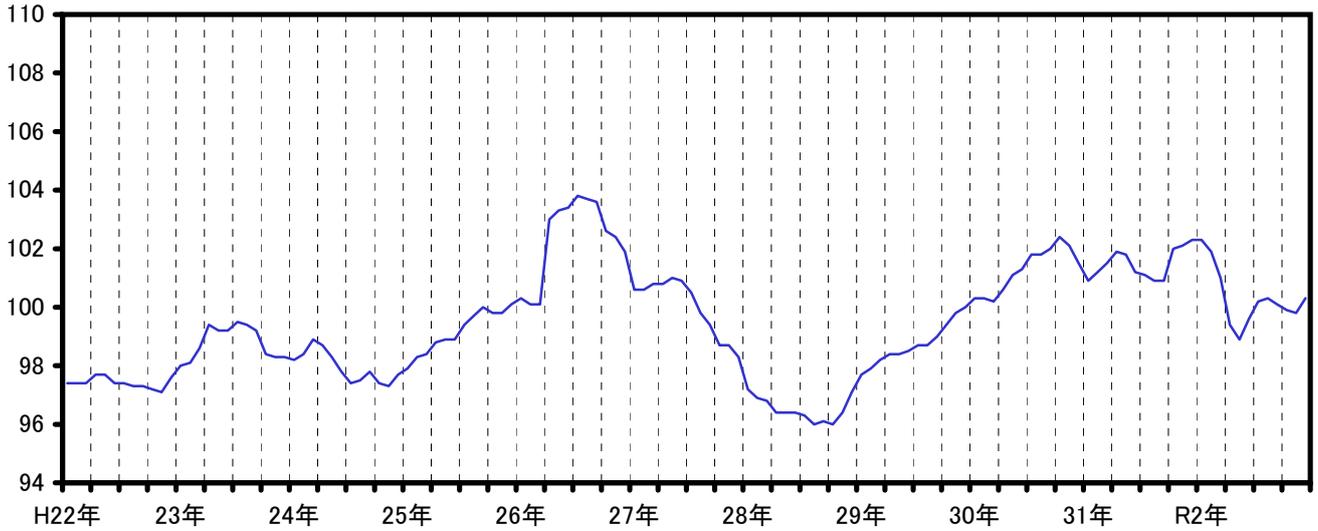
	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	1.723	1.710	1.686	1.686	1.678	1.671	1.660	1.656
前月差(ポイント)	▲ 0.017	▲ 0.013	▲ 0.024	0.000	▲ 0.008	▲ 0.007	▲ 0.011	▲ 0.004
前年同月差(ポイント)	▲ 0.117	▲ 0.123	▲ 0.127	▲ 0.108	▲ 0.108	▲ 0.102	▲ 0.110	▲ 0.102

<資料>日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

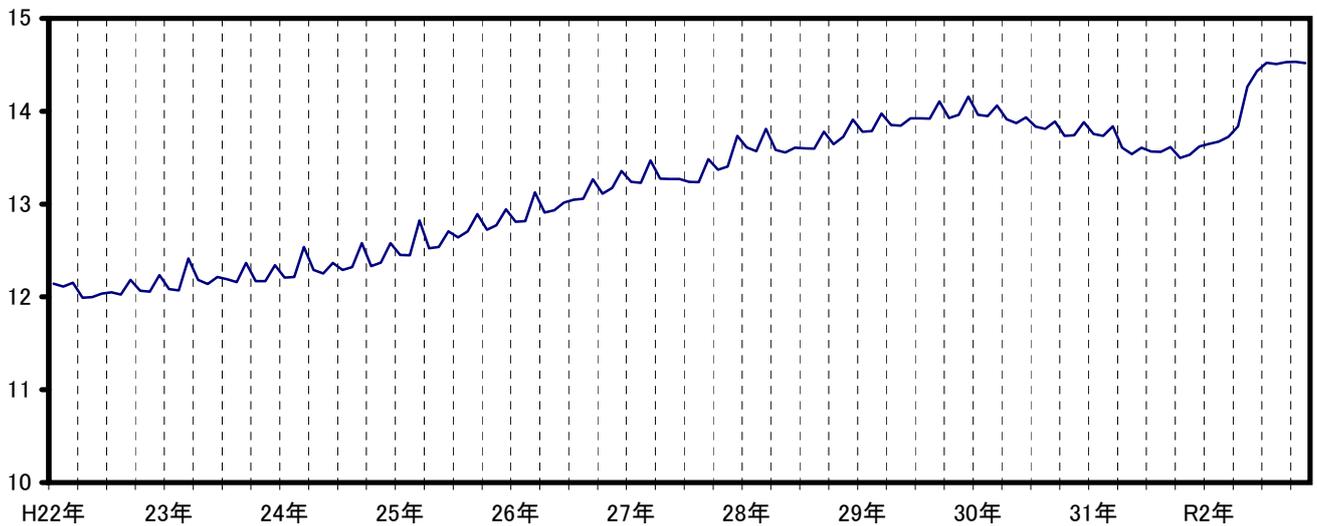
国内企業物価指数(平成27年=100)

＜資料＞日本銀行



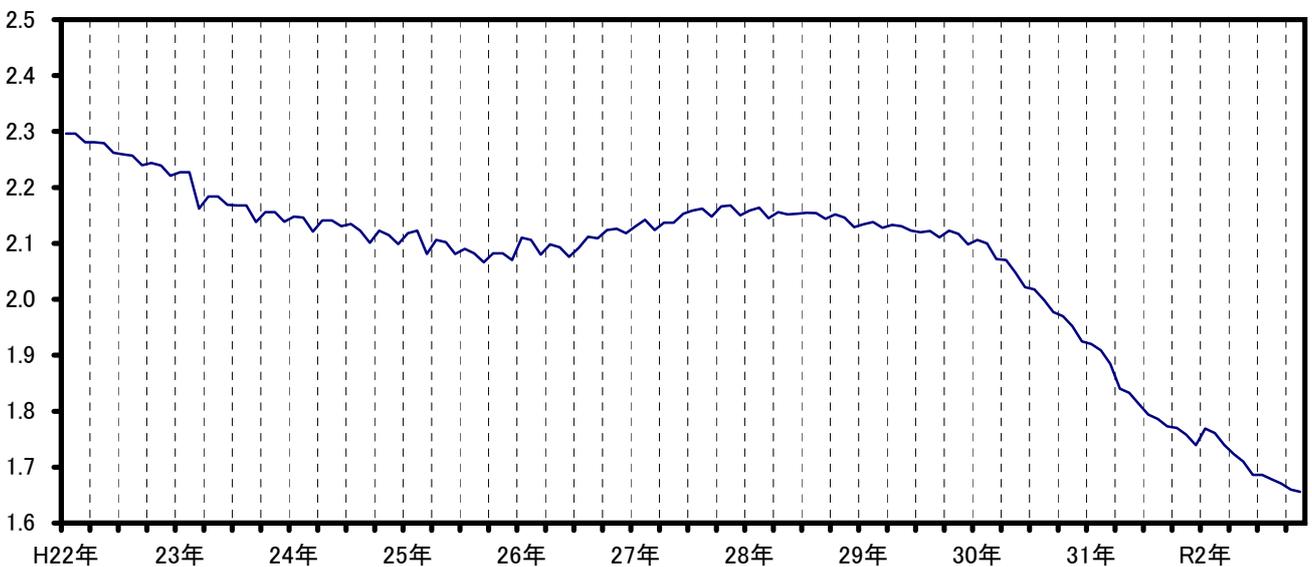
県内金融機関貸出残高(兆円)

＜資料＞日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

＜資料＞日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****11月 = 42,712百万円**

\*前年同月比：209.3%増

## &lt;概況&gt;

11月の保証承諾は、金額は42,712百万円（前年同月比209.3%増）、件数は3,615件（同179.8%増）と、いずれも9か月連続で前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	132,181	172,545	174,381	144,620	60,088	46,212	39,846	42,712
前年同月比（%）	1,178.7	1,345.9	1,185.2	933.1	408.5	243.4	228.0	209.3
保証件数（件）	6,152	8,566	12,152	10,346	4,791	3,836	3,485	3,615
前年同月比（%）	459.4	609.2	786.5	620.6	296.3	208.0	193.5	179.8

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****12月 = 103.82円/ドル**

\*前月差：0.58円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

\*前年同月差：5.36円高

## &lt;概況&gt;

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は103.82円で、前月と比べて0.58円の円高となり、6か月連続で円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	107.31	107.56	106.78	106.04	105.74	105.24	104.40	103.82
前月差（円）	▲0.62	0.25	▲0.78	▲0.74	▲0.30	▲0.50	▲0.84	▲0.58
前年同月差（円）	▲2.52	▲0.50	▲1.44	▲0.23	▲1.67	▲2.88	▲4.46	▲5.36

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****12月 = 19件**

\*前年同月比：58.3%増

## &lt;概況&gt;

12月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は19件（前年同月比58.3%増）と、前年実績を上回り、負債総額は1,942百万円（同95.2%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の84.2%を占め、277か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

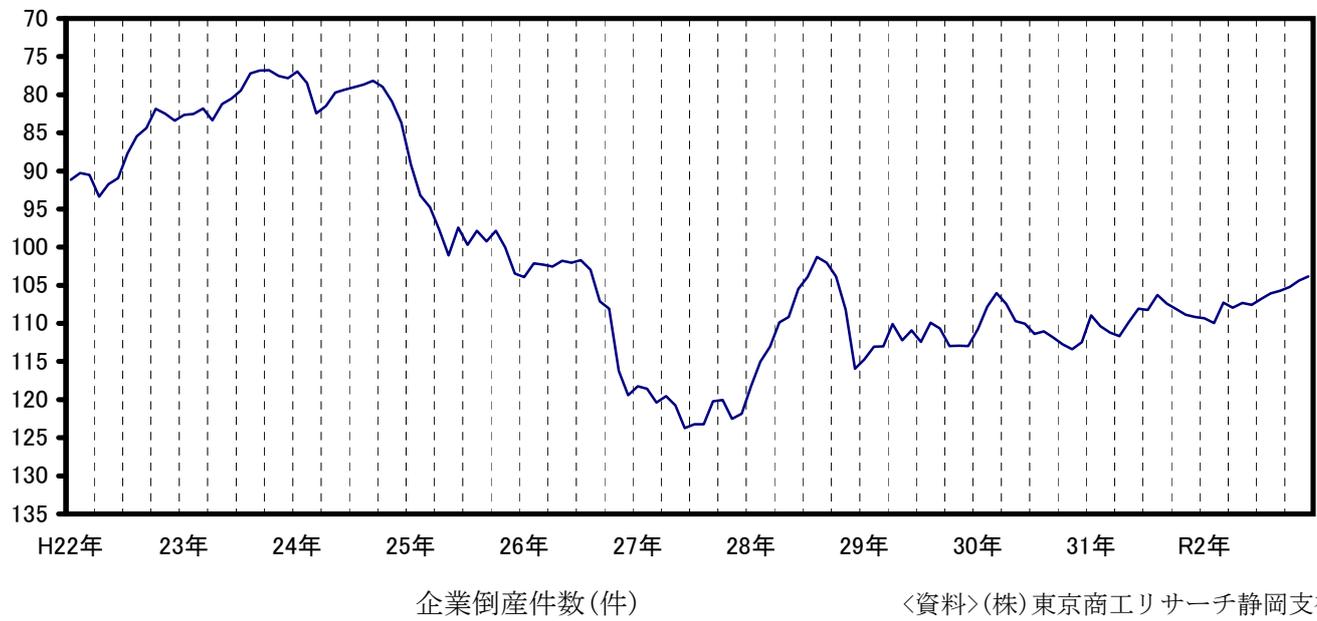
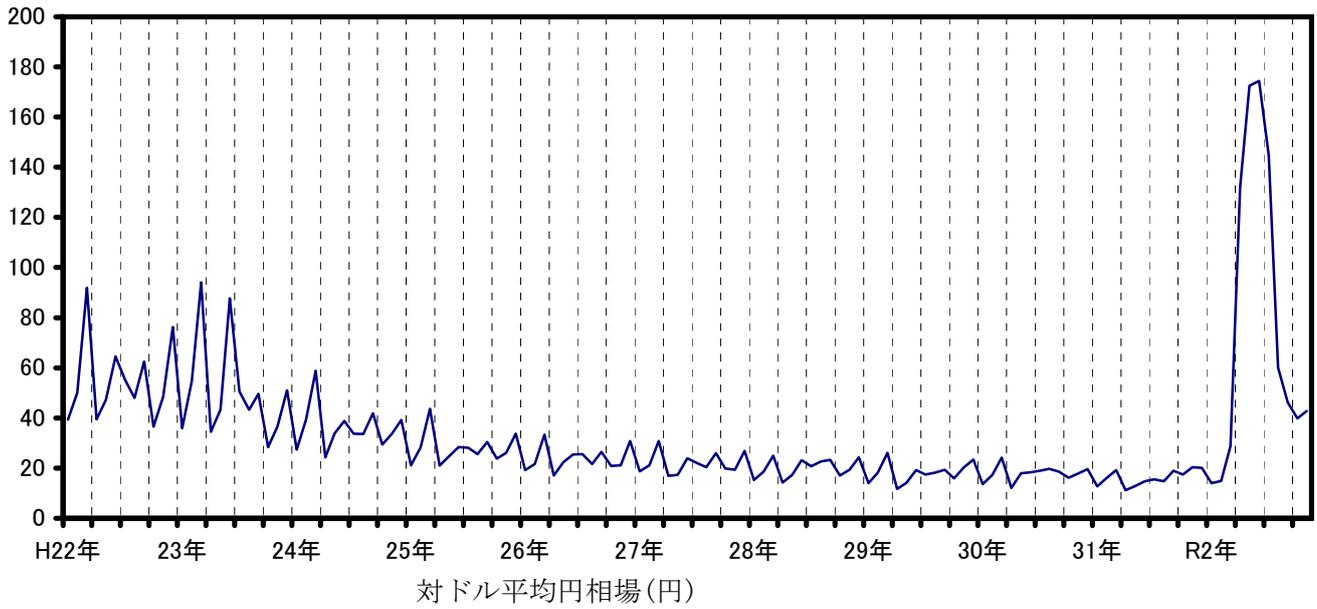
	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	11	32	16	14	13	11	16	19
前年同月比（%）	▲35.2	128.5	▲44.8	16.6	▲35.0	▲26.6	▲30.4	58.3
うち不況型倒産件数（件）	9	29	14	13	12	9	16	16
負債総額（百万円）	1,669	2,398	1,732	1,907	1,136	809	1,657	1,942
前年同月比（%）	▲9.6	▲24.8	▲55.7	30.7	▲26.3	▲53.0	▲42.9	▲95.2

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

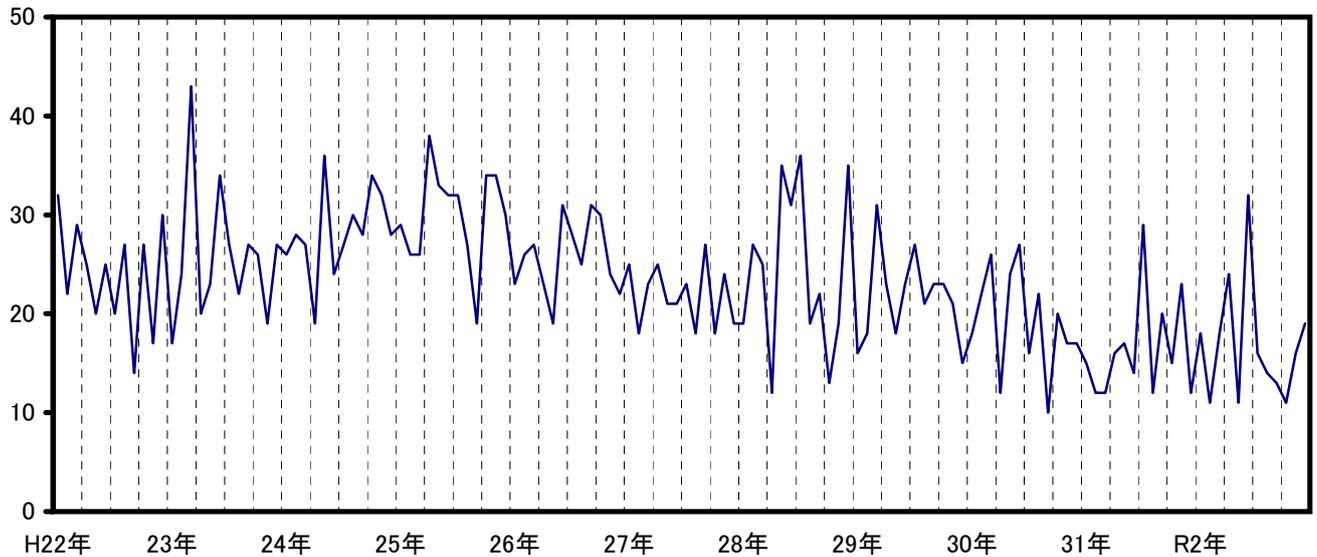
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和2年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、42,770台（前年同月比 17.6%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,480台（同 2.4%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,379台（同 31.1%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,493台（同 22.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、24,418台（同 26.5%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、29,940台（同 19.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、29,972台（同 17.8%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>10月の自動車国内生産台数は、838,205台（前年同月比 7.7%増）と、13か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は413,862台（同 2.2%増）と、13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月連続、トラックが15か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は320億円（前年同月比 15.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は260千台（同 9.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは490千台（同 17.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は64千台（同 12.8%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、1,215千台（同 25.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,019千台（同 47.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 83.8%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、886億8,000万円（前年同月比 8.6%増）と、26か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は616億3,800万円（同 22.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。アジア向けが330億1,000万円（同 65.1%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。内需は270億4,200万円（同 13.8%減）と、24か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「新型コロナウイルスの状況が悪い中でも、少し動きが出てきたかという矢先に感染再拡大ということで、今後の見通しが立たない。」「新型コロナウイルスの影響がある前の状態にまで回復しているという半導体装置関連業者もあるが、来年にかけて先が見通せない組合員がほとんどである。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、47億5,373万円（前年同月比16.5%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億7,310万円（同 7.1%減）と、国内向けが20億8,064万円（同 26.0%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,300台（同 2.4%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,259台（同 5.1%増）、グランドピアノ1,041台（同 3.1%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,650台（同 15.7%増）、国内向けが1,041台（同 28.2%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、1,857千トン（前年同月比 8.2%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は922千トン（同 11.8%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。板紙は935千トン（同 4.3%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、495千トン（同 15.3%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、155千トン（同 6.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,001千箱（前年同月比 9.8%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は637千箱（同 14.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。うち、主力であるツナ缶は476千箱（同 15.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は363千箱（同 0.1%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,983千箱（同 16.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、787千㎡（前年同月比 48.6%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、739千㎡（同 49.2%減）と、20か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、47千㎡（同 36.6%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同 35.3%減）と、32か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、44億9,161万円（前年同月比20.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、675億1,750万円（同 4.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,768百万円（既存店前年同月比 0.3%減）と、前年同月の実績を下回った。品目別では、身の回り品、飲食料品、その他の商品の販売が好調だった一方で、衣料品、家庭用品、食堂・喫茶の販売が不調であった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による影響で、売上げ及び来客数は、前年同月と比較して減少した。特に、ブランドの撤退があった衣料品の売上げが不調であった。</p> <p>県内の専門店への聞き取りによると、下旬は、感染再拡大による影響が見られたものの、全体としては、同店にテナントとして入る映画館の上映作品がヒットしたことや、映画の関連商品を販売する書店等が好調だったことから、売上げ及び来客数は、前年同月と比較して増加した。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、外出を控え、家で食事を作る消費者が多いことから、前年同月と比較して来客数が減少した一方で、売上げは増加した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響について、前月の景気状況では、落ち着きが見られたものの、11月下旬以降の感染再拡大を受け、各業態で再び影響が現れた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約48万人で、前年同月比24.7%増だった。</p> <p>県内では、10月に引き続き、国の「GO TOトラベルキャンペーン」及び本県の「バイ・シズオカ～今こそ！しずおか!!元気旅!!!～」等、需要喚起策が実施され、客数の増加に寄与したものと思われる。</p> <p>主要有料道路（4路線<sup>*1</sup>）の合計通行車両数は、約61万台となり、前年同月比10.5%増だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	20,626	18,471	4,821	12,273	13,856	14,410	21,253	20,918	20,803
前年同月比(%)	▲ 5.6	▲ 2.3	▲ 74.0	▲ 30.8	▲ 37.1	▲ 11.2	▲ 13.7	▲ 19.1	▲ 21.3
KD輸出額(百万円)	1,524	1,082	32	526	514	506	658	1,307	1,147
前年同月比(%)	91.8	25.4	▲ 97.2	▲ 43.5	▲ 66.3	▲ 47.2	▲ 35.5	6.0	▲ 34.7

### <楽器>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,166	1,997	1,130	2,128	2,326	1,801	2,341	2,888	2,814
前年同月比(%)	0.5	▲ 39.6	▲ 64.6	▲ 32.5	▲ 35.7	▲ 32.3	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 15.9

### <缶詰>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	1,006	1,173	1,113	1,145	1,062	1,029	1,118	1,069	1,001
前年同月比(%)	▲ 0.2	17.2	25.0	21.0	▲ 0.8	14.1	19.2	3.2	▲ 9.8
うち水産缶詰(%)	1.2	18.5	29.1	28.9	3.8	13.5	19.7	▲ 2.4	▲ 14.7
農畜産缶詰(%)	▲ 2.8	14.4	16.6	6.3	▲ 9.0	15.3	18.3	14.2	0.1
飲料缶生産高(千ケース)	8,263	7,742	6,986	7,190	8,475	7,336	6,494	6,253	5,983
前年同月比(%)	6.9	▲ 0.0	▲ 13.1	▲ 13.1	1.2	11.5	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 16.4

### <繊維>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	1,164	1,028	755	732	663	577	640	666	787
前年同月比(%)	▲ 14.3	▲ 19.6	▲ 37.4	▲ 37.0	▲ 39.5	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 51.4	▲ 48.6
小幅織物(千㎡)	22	20	17	15	11	13	15	17	17
前年同月比(%)	▲ 16.4	▲ 25.5	▲ 32.8	▲ 41.3	▲ 55.9	▲ 37.1	▲ 35.1	▲ 37.0	▲ 35.3

### <観光>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
観光施設(10施設)入込 (千人)	345	131	21	234	223	389	342	396	476
前年同月比(%)	▲ 28.2	▲ 76.5	▲ 96.7	▲ 28.6	▲ 26.6	▲ 24.2	▲ 7.9	26.2	24.7
有料道路(4路線)通行量 (千台)	532	318	315	420	489	687	558	573	615
前年同月比(%)	▲ 13.3	▲ 55.8	▲ 58.5	▲ 36.3	▲ 32.7	▲ 22.0	▲ 21.9	15.6	10.5

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

# 静岡県月例経済報告

令和3年1月号 通巻537号

発行 静岡県経済産業部  
令和3年1月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>